

山崎 勲 君

笹原 壮玄 君 ボックスに協力

大野 新吉 君 本日のご来訪、藤田様ようこそ!!又、卓話の坂爪さん宜しく願います。

梨本 清一 君 坂爪さん、ホントに来て頂きましたね。楽しみにしておりました。

小林 繁男 君 坂爪さん、卓話たのしみにしています。

安田 貞夫 君 坂爪さん御苦労様です。

堀川 正幸 君 今日楽しい山の話が聞けるので一口!!

今村 泉 君 ケーブルテレビの看板番組「シリーズ^{さんじょうびと}三条人」に当クラブの山上茂夫会員が出演されます。放送日は、本日19:00～と再放送は17日21:00～です。山上会員の波乱万丈の人生、ご視聴下さい。

卓 話:

紹介 梨本清一会員

先週に引き続き山のお話ですが、坂爪さんとは久保さんと登らん会でお会いしました。奥様と一緒に百名山を完登されたことで有名ですが、本当に仲のよいご夫婦でいらっしゃいます。三条にこんなに素晴らしい人がいらしゃると感動し、ぜひお話をお聞きしたいと思いお願いして来て頂きました。

「登って、旅して」 久保さんと登らん会 幹事 坂爪幸穂様



登って、旅してなのか、旅して登ってなのか、判りませんが深田久弥の100名山を完登して何が1番良かったかと聞かれると日本中旅行できたことです。

100名山の内95座は夫婦2人で登りました、残る5座は他の人と一緒にでした。がむしゃらに100名山を目指して登っていた訳ではないので、長いこと掛かりましたし、登り続けられればいずれは完登するだろうと思っていましたが、思ったより早く終わりました。100名山は素晴らしい山が多いですが登ることに技術がいるような山は少なく強い

言えば渡渉17回の幌尻岳くらいかと思います。

しかし北海道から九州迄広い範囲に渡り100の山の頂に立たなければなりませんので、時間と労力と経費が掛かります。少しづつ積み重ねていって達成できるものです。

私たち夫婦は平成14年9月15日100座目の頂きに立ちました。富士山です。

百名山 一座一座の 積み重ね 重ね終わって 富士の頂 山の上の おいら 作

失敗 恵那山 数年前のちょうど今頃でした、木曽山脈の恵那山に登りに行きました。中央高速の恵那山トンネルの上にある山です。トンネルを出て林道を進みましたが行けども行けども登山口がありません。人家のあるところまで戻り聞きました。林道は昨年の台風のため土砂崩れで通行止めだと教えられがっかりしました。何時も地元の観光課に確認してから行くのですが、確認を忘れるとこういう事になる残念。もう1ヶ所登山口があるのですが1時間以上かかる為「や め た」じ

ゃあどうする。この近くは旧中山道の馬籠宿、妻籠宿、奈良井宿、等見所は多くあるが何回か行っているのので思いつきで郡上八幡に行くことにしました。郡上八幡の公園の桜の下でビールを飲んで、ご飯食べて昼寝してから、郡上八幡の街へ出かけました。お土産を買ったり、造り酒屋で地酒を買ったりしてのんびりと過ごし、夕食は中津川市のレストランで食べ、その夜は高速道路のサービスエリアでホテルデリカに泊まりました。翌日高遠城址の桜の花見に行きました。此処の脇は南アルプスの甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳に行くとき何度か通っていますが中に入るのは初めてです。まるで三条祭りの宵宮祭りの人手のようです。長居は無用と次は伊那市の梅園に行きました。有料ですが綺麗な梅園です、駐車場が少なくて困りました、沢山の花が綺麗に咲いていました。昼食を食べて今度は更埴市の杏の里へ向かいました。牧歌的な丘陵地帯で杏の花が満開でした。梅と桜と杏の花の香りを堪能して命の洗濯をしました。

このような行動ですのではなかなか人様と一緒に行くことは出来ません。

毎年ゴールデンウィークには九州、四国、山陰、関西と飛んで行きます、そんな中から2つ程、旅と山の話をして頂きます。ある年、大台ヶ原と大峰山へ行きました、途中奈良にはお昼近くに着きました。奈良公園、東大寺、春日大社、薬師寺、二月堂、若草山等でゆっくり遊び、夕方までに大台ヶ原の駐車場に入れば良いのですカーナビで案内して貰い、近くのスーパーで色々買い物をしました。前はコンビニで買い物をしていましたがスーパーの方が品数が多くて又その地方の産物や果物類や野菜が有るのでそれらを良く買います。又見ても楽しいです。

夕食は大台ヶ原の駐車場で焼き肉にしました。翌日、大台ヶ原を登り終わり奈良県の大峰山に向かいました。林道のトンネルが工事のため1ヶ所トンネルの中を歩きました。大峰山は野生の鹿から樹林を守るため登山道を遮るように大きな範囲で金網が張ってあります。何か所も金網の戸を開けたり閉めたりしながら登ります。他にこんな山はありませんでした。次の日、釈迦が岳を登りました。非常にいい山でした。100名山ではありませんが100名山に負けません。予定の山を全部登り終わり奈良県吉野郡吉野町へ向かいました。前に出張の帰り2回ほど訪れています。吉野は桜の名所として江戸時代から有名ですし、今でも一万本の桜で日本中から観光客が訪れます。桜の花の散った吉野は観光地としての派手さはなく、いぶし銀のような重みと歴史の深さを感じます。兄源頼朝に追われ吉野の山中に逃れた義経公を追いかける静御前は「吉野山 峰の白雪 ふみ分けし 入りにし人の あとぞ恋しき」と悲恋の歌を残しております。又都を追われた後醍醐天皇の悲しい末路を後世の江戸時代の文人達「梁川星巖」「藤井竹外」「頼 杏坪」は吉野の三絶と言われる名詩を残しております。如意輪寺の扉には「楠 正行」の「かえらじと かねて思えば梓弓 なき数に いる 名をぞとどむる」と鏝で彫った辞世の句が今もあります。吉野は吉野杉と葛が有名です。小さなお店で美味しい葛餅を食べ思い出を沢山作った旅でした。

九州の旅 最初は韓国岳に登りました天候は霧雨でした。「霧けぶる 韓国岳は 雲の中 雨の 晴れ間に 頂きたてる」大勢の登山者でした。下山して鹿児島県の市来町へ向かいました、懇意の家族がいます。夕方到着してお茶を飲んでいるとき夕陽を見に行こうと言われ近くの砂浜へ行きました（最近判ったことですが此処は吹上浜のはずれでした）。やがて夕陽が沈み此処は日本海では